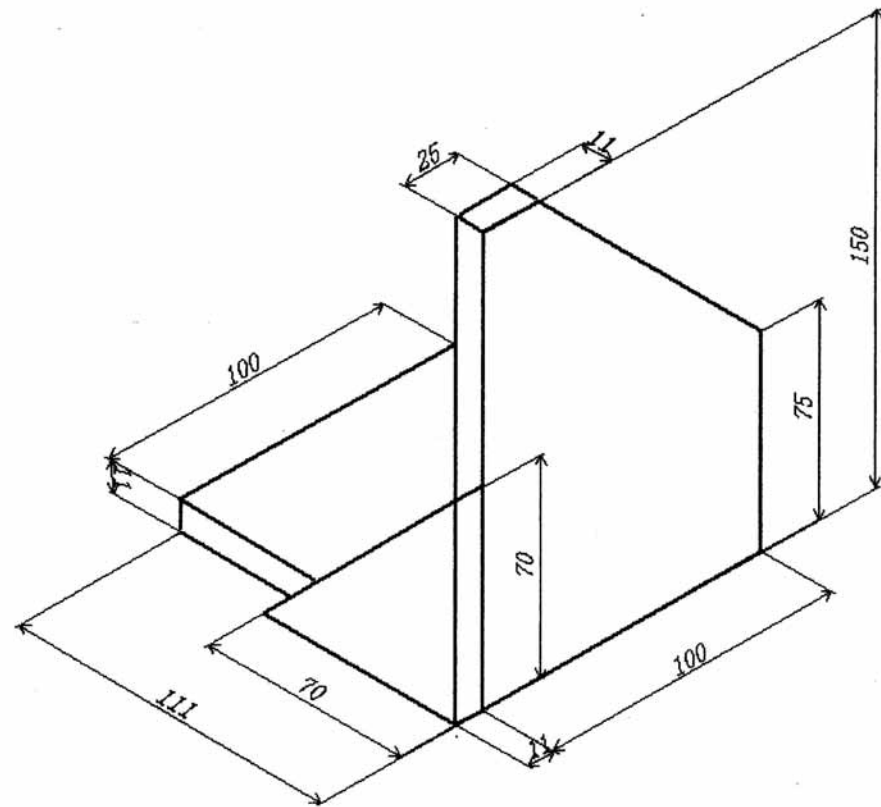


課題例1 「ブックエンド」(製作時間90分以内)

<第3回 全国中学生ものづくり競技大会 規定課題より>
 「長さ270mm幅105mm厚さ12mmの板材1枚」「真ちゅうくぎ長さ32mm10本」
 を用いて等角図に示されたものを製作する。全ての面をカンナがけする。各板材の接合部
 はくぎ2本をそれぞれ用いて接合する。(合計6本)
 ~使用可能な工具~
 ノコギリ、カンナ、ゲンノウ、四ツ目キリ、木口削り台、クランプ、さしがね又はスコヤ、
 くぎ抜き、釘締めなどの木工具



審査の観点

番	観 点	評 価
1	材料どり・けがきが正しくできる。	5 4 3 2 1
2	カンナがけ(木表 木裏 こぐち こば)がきれいにできる。	5 4 3 2 1
3	のこぎり引きが正確にできる	5 4 3 2 1
4	釘打ちが正確にできる。(キリの下穴あけも含む) (釘の位置, 釘の長さ, 打つ本数)	5 4 3 2 1
5	作品の出来ばえ (直角がでている)	5 4 3 2 1
6	作業の段取りや片付けがよい。	5 4 3 2 1

評価5：大変優れている。 評価1：基礎から学習しよう。

平成22年度

第11回全国中学生創造ものづくり教育フェア

めざせ! 「木工の技」チャンピオン部門

長野県 地区大会 要項



写真：第10回 全国中学生創造ものづくり教育フェアより
 出場生徒 豊丘中学校 木下裕太さん

主 催 長野県技術・家庭科教育研究会

全日本中学校技術・家庭科研究会

後 援 長野県教育委員会 信濃教育会

長野県木材青壮年団体連合会

期 日 平成22年7月31日(土) 8月1日(日)

会 場 浅間中学校 旭ヶ丘中学校 福花中学校 清水中学校

長野県技術・家庭科教育研究会 <http://www.gika.jp/>

1 日程

受付 開会式 8:30~
 競技(清掃・片付け) 9:00~12:00 地区により時間が違います
 閉会式(感想記入など) 12:00~12:30 解散

開会式 始めの言葉 審査員あいさつ 競技についての説明 連絡 終わり言葉	閉会式 始めの言葉 結果発表 表彰 審査員の講評 連絡 終わり言葉
---	--

2 競技内容 課題2「手桶」 地区代表を3名選考する。
 地区ごとに課題を決めます。

3 参加費(材料代) 300円

4 参加生徒名簿

番	氏名	学校名	年	備考
1				
2				
3				
4				
5				
6				

6 今後の予定

(1) めざせ!「木工の技」チャンピオン部門 地区大会

地区名	期 日	会 場	担当者	課題
東信地区	8月 1日(日)	佐久市立浅間中学校	仲沢弘一	ブックエンド
南信地区	7月31日(土)	飯田市立旭ヶ丘中学校	大平亮治	ブックエンド
北信地区	7月31日(土)	長野市立裾花中学校	伊藤 靖	ブックエンド
中信地区	7月31日(土)	松本市立清水中学校	野澤重徳	手桶

(2) 県大会

部 門	期 日	会 場	担当者	備考
木工	10月31日(日)	松本市立清水中学校	野澤重徳	県大会は自由題材 板材2枚使用
アイデア バック	10月31日(日)	松本市立清水中学校	中山千代子	10月1日までに豊科 南中へ作品送付。
お弁当コ ンクール	10月31日(日)	松本市立清水中学校	赤羽美和子	10月1日までに長野 東部中へレポート送付

(3) 関東甲信越大会

期日平成22年12月5日(日)
 茨城県 堀原運動公園(茨城県武道場)水戸市新原2-11-1

(4) 第11回 全国中学生ものづくり教育フェア

期日 平成23年1月22日(土)~23日(日)
 会場 新木場 木材・合板博物館:作品展示、木工、アイデアバック
 銀座中学校:ロボコン、パソコン 女子栄養大学:お弁当

課題例2 「手桶」(製作時間 150分以内)

平成19年度長野県技術・家庭科教育研究会 中信地区研究大会 学習指導案より
 (三岳中学校技術・家庭科教科会・木曾郡技術・家庭科教育研究会)

材料 幅121mm 長さ900mm 厚さ12.5mmのヒノキ材 真鍮釘32mm20本

部品表

部品番号	品名	材質	仕上がり寸法(例)	数量
	後板	サワラ	12×120×280	1
	前板	サワラ	12×120×150	1
	底板	サワラ	12×120×120	1
	側板	サワラ	12×96×150	2

キャビネット図

